

# 超高齢社会にむけて ～高齢者が安心して暮らせるまちづくり～

老いても、あなたは今の住み慣れた『まち』で安心して暮らし続けられますか？

日本の高齢化率は、2013年10月時点で約25%、将来推計では、2035年に約33%、2060年に約40%と試算されています(平成26年版高齢社会白書)。

世界でも類を見ない超高齢社会において、高齢者が安心して暮らし続けられるまちを、いかにつくるか総合的に考えることが必要です。

**この研修では、講義や事例紹介、演習を通して、次のような項目を習得します**

- 超高齢社会の課題等について整理します。
- 課題解決のために参考となる事例紹介を聞きながら、自分のまちの施策について考えます。
- 団塊の世代が後期高齢者になる2025年を目指して、どのようなまちをつくるか、演習(グループ討議)を通じて考えていきます。

## 開催要領

日程	平成27年5月27日(水)～5月29日(金) (3日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	<b>高齢者が安心して暮らせるまちづくりに携わる市区町村等の職員(高齢福祉、企画、防犯・防災等の担当者)</b> 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。
募集人数	<b>40人</b> 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	<b>研修所宿泊棟(宿泊型研修)</b> ※外泊はできません。
経費	<b>10,500円</b> 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	<b>平成27年4月15日(水)まで</b> ※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、研修開始前にご連絡ください。
申込方法	<b>JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。</b> 議員の方は、 <b>議会事務局を通じて</b> お申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

【問い合わせ先】

公益財団法人 全国市町村研修財団

**全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906  
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] http://www.jiam.jp



5月27日水

11:00～

**入寮受付・昼食**

12:30～

**開講・オリエンテーション**

13:00～15:35

**講義 超高齢社会にむけて、  
高齢者が安心して暮らせるまちづくり**

東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 氏

今後ますます高齢化が進む日本においては、老いても住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるまちづくりを進めることが喫緊の課題です。この講義では、10年後、20年後における各地域の高齢化等の状況を見据え、今、何をすべきかをお話しいたします。

15:50～17:00

**演習 グループ討議① (課題抽出)**

東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

グループに分かれ、今後、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに係る諸課題について意見交換を行い、問題意識を共有していただきます。そのうえで、各団体の状況を踏まえた課題をグループで設定していただきます。

17:30～

**交流会**

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

5月28日木

9:00～10:40

**事例紹介① 地域との連携  
～地域みまもりネットワークの構築～**

福岡県大牟田市産業経済部調整監(前保健福祉部副参与) 池田 武俊 氏

コーディネーター:東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

大牟田市では、平成14年から認知症ケアコミュニティ推進事業を進めています。この時間は、認知症ケアを通してのまちづくりや、地域みまもりネットワークの構築、地域で認知症の人を支える取り組みなどについてご紹介いただきます。

10:50～12:30

**事例紹介② 災害から高齢者を守りたい  
～独自の防災マニュアルを中心に～**

社会福祉法人相清福祉会特別養護老人ホーム梅光苑 施設長 内田 芳明 氏

コーディネーター:東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

梅光苑は、施設が立地している場所が土砂災害警戒区域に指定されており、過去には豪雨災害により施設内の一部が冠水するなどの被害を受けています。このことから苑独自に防災マニュアルを作成し、災害から高齢者を守る取り組みを進めています。併せて、施設周辺の避難場所との協力関係構築や、避難訓練の実施などにも取り組んでいます。

この時間は、梅光苑の災害に備えた様々な取り組みについてご紹介いただきます。

13:30～15:10

**事例紹介③ 介護予防で元気に暮らせるまちづくり**

東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

稲城市では『高齢者の介護に必要な費用を安定的に維持していくためには、現在元気な高齢者が元気であり続けるための対策を早い時期から講じる必要がある』と考え、介護予防に力を入れています。また、介護ボランティア制度を創設していますが、この仕組みはボランティア活動をする側の介護予防にもつながっており、高く評価されています。この時間は、その取り組みについてご紹介いただきます。

15:20～17:00

**演習 グループ討議② (課題解決にむけて)**

東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

これまでの講義や事例紹介を踏まえ、前日に設定した課題の解決にむけて意見交換を行い、2025年度を目指し、どのようなまちをつくれれば、高齢者が安心して暮らせるのか、具体的な施策を考えていきます。

17:00～

**課外学習 グループワーク**

## 研修の内容及び日程

5月29日(金)

9:25 ~ 12:00

### 演習 発表、質疑応答、講評

東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

グループごとに討議の結果を発表していただきます。その後、意見交換を行い、石田氏から講評をいただきます。

13:00 ~ 14:10

### 講義 総括講義とふりかえり

東京都稲城市福祉部長 石田 光広 氏

3日間の研修をふりかえり、石田氏よりお話をいただいて研修のまとめとします。

14:10 ~ 14:20

### 閉講・事務連絡

## 本研修の他、福祉に関する研修をご紹介します。

なお、各研修の詳細は、研修日の約2か月前にお送りする研修案内ちらしをご覧ください。

### 新しい地域福祉の実践とその支援策～共生ケアを考える～

平成27年7月22日(水)～7月24日(金)

高齢者、障がい者、乳幼児等、年齢や障がいの有無を問わず幅広くサービスを提供する「共生ケア」が全国に広まりつつあります。この研修では、「共生ケア」の先駆的な取り組みである「富山型」を参考に、それぞれの地域の実情に合わせてこれからの地域福祉をいかに展開していくか、また、行政がどのように関わっていくか考えていきます。

### 介護保険事務～制度と運用～

平成27年8月17日(月)～8月21日(金)

制度発足から既に10年以上経過する中、時代の要請に応じて改正されてきている介護保険について、その成り立ちと制度の意義を改めて学んだ上で、制度全般についての理解を深めます。また、先進事例紹介や演習等により、地域の実情や時代のニーズに合った介護保険の施策を企画立案できる能力の養成を図ります。

### 現場から描くこれからの地域医療

平成27年10月28日(水)～10月30日(金)

少子高齢化や価値観の多様化等により医療に対するニーズが高まる一方で、医師や医療機関の偏在など、地域医療をめぐる様々な問題が発生しています。この研修では、介護・医療・福祉の連携により在宅医療をどのように進めるか、また、検診率を上げることにより医療サービスの受診をいかに減らしていくか等、自治体現場から持続可能な地域医療について考えていきます。

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

#### JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

#### 夏季における軽装について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間(5月1日から10月31日まで)は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

#### 研修所までの交通のご案内

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



#### [研修所の所在地]





# FAXでのお申込みは矢印の方向に

平成27年度 受講申込書

研修名 及び時期	<h2 style="margin: 0;">超高齢社会にむけて</h2> <h3 style="margin: 0;">～高齢者が安心して暮らせるまちづくり～</h3> <p style="margin: 0;">平成27年5月27日(水)～5月29日(金) (3日間)</p>					
市区町村 コード番号						※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 (例：12345-6の場合、123456と記入)
団体名	都 道 府 県			市 区 町 村 組 合		
所在地 (受講決定 通知送付先)	〒		申込手続の 担当課名			
			担当者名			
			電話番号			
			FAX番号			
			e-mail アドレス			
受講者	所属					
	役職名					
	職階 (○印を記入)	1 部長級   2 課長級   3 課長補佐級   4 係長級   5 主査級   6 主任・主事・技師等級 <small>(自治体職員の方のみ記入してください。) (不明の場合は、「6 主任・主事・技師等級」を選択してください。)</small>				
	ふりがな					
	氏名					
	年齢 (研修開始日現在)	歳	性別	男 ・ 女		
	本研修関連職務の通算経験年数 (研修開始日現在)			年	ヶ月	
NPO等の方	団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。					
<p>上記のとおり、研修の受講を申し込みます。</p> <p>平成    年    月    日</p> <p style="text-align: center;">団体の長の職 氏名</p> <p>全国市町村国際文化研修所学長 あて <span style="float: right;">公印省略可</span></p>						

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部 FAX.077(578)5906